

活動報告書

2020 年 9 月 30 日

部署	山形県防災士会 理事	氏名	細谷真紀子
----	------------	----	-------

(1) 概要

名称	山形県防災フォーラム（フォーラム後：防災に関わる女性の視点意見交換・交流会 ※山形県防災士会主催）
期間	2020 年 9 月 28 日 13:30 ～ 17:15 （ 1 日間）
場所	山形県庁 講堂（〒990-8570 山形市松波二丁目8-1 山形県庁内）
概要	県フォーラム 第一部：山形県防災士会理事 細谷真紀子による講演、第二部：防災トークセッション日本防災士会理事 保田 真理氏参加（フォーラム終了後、同会場にて意見交換会を行った。）
目的	本年度研修テーマが「ダイバーシティ防災」となり、多様性を持った視点でのフォーラムを開催したいとの要望が県よりあった。また時期を同じくして県男女共同参画課でも内閣府のガイドラインを受け活動周知のチラシを作成。地域防災の中に多様な視点を持つための布石となるよう協力要請があった。
経費	県と共同主催の一般財団法人消防防災科学センターより運営委託。経費は同センターが負担。

(2) 報告事項

内 容	
<p>■先だって行われた山形県防災士会の山形県知事への要請の中にもありました防災分野への女性参画についての活動の一環として、本年度の県防災フォーラムでは多様性の視点を持ったテーマで開催したいとの要望が県よりあった。その中で、第1部では県防災士会理事の細谷が講演、第2部として、市民・防災士・行政、三者の目線で自由に発言できる場を設けた。県防災士会では第2部の運営の委託を受け開催した。また東北女性防災士ConnectAction!の繋がりをより地域に周知できる場として、県フォーラム終了後、県の協力を得、同会場内にて意見交換会を行った。</p>	
	
	

結 果

■総来場者数230名※感染症対策を徹底し開催した為、申し込みが定員をオーバーしお断りする事例が発生した。

所 感

■参加者が県防災フォーラム史上最大（一般市民参加者も最大（防災士を除く））となった為、三助全ての分野の参加者に防災の多様な視点の必要性が打ち出せたのではないかと思います。また県の防災士養成に関して、地域潜在防災士へのアプローチが必要との視点も公の場所で打ち出したメリットは大きいと感じる。公のフォーラムで、防災士会が連携して運営を行ったことは、より活動の幅を広げるきっかけとなったのではないかと。また、公の場で市民の言葉を拾うことができたのも防災士会の大きな功績と感じる。より一層、地域防災・地区防災への活動の広がりを感じられる機会となった。また一般市民への防災士の活動への認知を変える大きなきっかけでもあったのではないかと。最後に本文中の「防災士」という言葉には大きく女性の意も含めた文となっていることを書き加えさせていただきます。